

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	社会学	分野/教育内容	基礎分野/人間と生活・社会の理解
開講年次・時期	1年前期 令和5年9月5、6日 9月11-13日	単位数/時間	1単位/30時間
担当講師名	平井 勇介	所属・職位	岩手県立大学総合政策学部・准教授
		資格・免許	
授業の概要	死は誰もが免れないものですが、現代社会は日常生活から死を極力排除しているといわれます。本講義では、死というものが歴史的に人にどのように扱われてきたのか、現代社会ではどのように扱われているのか、その意識の違いをできる限りみていきたいと思います。そのことを通じて、死に対する認識を深めることを目的としています。		
到達目標	死について自分なりの暫定的な考えを表現できるようになること。		
事前学習内容	いまの自分が考える「死のイメージ」を言語化できるようにしておいてください。		
成績評価の方法	中間レポート、グループディスカッションへの参加度、報告内容で評価する。		
使用テキスト	講義時にレジュメや資料を配布		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回 9/5	死とはなにか?—死へのイメージ		講義
第2回 9/5	死への恐怖と日本人の対応—家の機能		講義
第3回 9/5	家と地域社会—死に寄り添う地域社会		講義
第4回 9/6	死とのつきあい方の変化①—生誕に焦点を当てて		講義
第5回 9/6	死とのつきあい方の変化②—死の迎え方に焦点を当てて		講義
第6回 9/6	家で死にたいという希望—動画視聴とレポート		講義
第7回 9/11	震災死と地域活性化①		講義
第8回 9/11	震災死と地域活性化②		講義
第9回 9/12	視察：学ぶ防災（宮古）・東日本大震災津波伝承館（陸前高田）		学外実習
第10回 9/12	視察：学ぶ防災（宮古）・東日本大震災津波伝承館（陸前高田）		学外実習
第11回 9/12	視察：学ぶ防災（宮古）・東日本大震災津波伝承館（陸前高田）		学外実習
第12回 9/12	視察：学ぶ防災（宮古）・東日本大震災津波伝承館（陸前高田）		学外実習
第13回 9/13	グループワーク①—震災遺構についてどう考えるか		GW
第14回 9/13	グループワーク②—死とどう向き合うのか		GW
第15回 9/13	報告会		GW
履修上の留意点	1. 授業の進め方などの詳細は初回講義時にアナウンスします。 2. 分からないことは聞いてください。		